

まほろば秦野通信

平成27年12月24日

秦野市役所市長室広報課

タイトル	秦野市下水道事業の企業会計化と 上下水道事業の組織統合
When (いつ)	<p><u>平成28年4月1日</u>に、上下水道事業の組織を統合するとともに、下水道事業は地方公営企業として新たにスタートします。下水道事業の地方公営企業への移行は、神奈川県内19市のうち7番目となります。(平塚、小田原、座間の3市も同時期に移行予定)</p>
Where (どこで)	<p>組織統合後の合同庁舎は、現在の浄水管理センターの改築・耐震化を行い、平成29年度から供用を開始する予定です。</p> <p>そのため、平成28年度は次のとおりサービスや事務の内容に合わせた分散庁舎とし、段階的な対応・整備を行いながら、窓口サービスの向上など統合効果の早期発現に努めます。</p> <ol style="list-style-type: none">平成28年度<ol style="list-style-type: none">水道局庁舎 窓口サービスと水道施設の整備・管理に関すること浄水管理センター 終末処理場の管理と下水道施設の整備に関すること平成29年度 上下水道事業に関するすべてのサービスを浄水管理センターに集約(平成29年夏ごろの供用開始を予定)
Who (だれが)	<p>現在の水道局(2課7担当)と下水道部(3課8担当)の組織を統合し、新たに<u>上下水道局</u>(4課14担当)とします。</p>
What (なにを)	<ol style="list-style-type: none">市民サービスの向上に努めます。組織、事務・事業の更なる効率化に努めます。災害対応など組織力の強化・充実に努めます。
How (どのように)	<ol style="list-style-type: none">上下水道事業の窓口サービスを集約し、各種申請に対する許可事務など迅速な対応が可能となります。組織がスリム化し、事務・事業が一層効率化します。統合によるスケールメリットを発揮し、災害対応力を高めて安全・安心なまちづくりに寄与します。

まほろば秦野通信

Why (なぜ)	<p>施設・設備の老朽化に伴う更新投資の増大や、人口減少に伴う料金収入の減少などにより、公営企業会計の経営環境は厳しさを増しています。こうした環境の変化に対応し、ライフラインである上下水道施設を、将来にわたり適正に維持・管理し、市民の安全・安心を守り続けるには、下水道事業の法適化及び上下水道事業の組織統合により、事務事業の更なる効率化を含めた経営基盤の強化に努める必要があるためです。</p>
How much (予算)	<p>組織統合に伴う主な経費削減効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の維持管理に関すること ▲約970万円/年 ・水道局庁舎の更新に関すること ▲5億5,900万円
過去の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・上下水道事業の組織統合を、新はだの行革推進プラン（平成23年策定）の改革項目に位置付けて検討作業を開始 ・下水道事業の法適化計画（平成25年度策定）に基づき、平成25年度から27年度の3か年で資産調査や会計システムの導入作業を実施 ・平成27年第4回定例会で関係条例を改正
今後の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年3月下旬に、下水道総務課及び下水道施設課の一部が、水道局庁舎へ移転 ・平成28年4月1日から、現在の水道局庁舎で上下水道事業の一元的な窓口サービスの提供を開始 ・浄水管理センター改築・耐震化工事を施工し、平成29年夏ごろから、合同庁舎としての供用を開始
ホームページ URL	<p>http://www.city.hadano.kanagawa.jp/machi/gesuido/index.html</p>
問い合わせ	<p>下水道部下水道総務課庶務担当 担当：久保田 電話0463（81）4113</p>

秦野市市長室広報課 電話0463（82）5117